

第10回七滝公民館祭り

10月15日、旧七滝小学校体育館で第10回七滝公民館祭りが開催されました。町公民館七滝分館主催（福嶋幸博分館長）で午前中は、七滝地区体育協会で吹き矢、シャッフルボードなどのニュースポーツを行い、子ども対大人とのドッチビー対決などで参加者は汗を流しました。福嶋分館長は「公民館祭りはみんなが交流する場。笑顔になってもらいたい」と思いを話しました。午後は、七滝中央小の力強い太鼓やきれいな琴の音色を聴き、恒例のお楽しみ抽選会などで会場は盛り上がり、大成功で幕を閉じました。



1_シャッフルボードをする参加者 2_吹き矢を体験する七滝中央小児童
3_七滝中央小による太鼓 4_ベタンクを楽しむ参加者たち
5_じゃんけん大会で大盛り上がり

町内各地で稲刈り体験

10月は町内各地で、児童や園児が稲刈りを体験しました。13日は、滝尾小学校（上田晃生校長・63人）の5年生11人が村上新次さん（木倉）の田んぼで稲刈りを体験しました。村上さんは「自分で植えたお米が食べられるまでの間、どのくらいの労力がかかるか知り、お米の大切さを感じてもらいたい」と話しました。児童たちは、村上さんに刈り方、脱穀の仕方を教わりながら、一生懸命頑張りました。20日は、若葉保育園（本田恵美子園長・151人）と高木保育園（野口壮一園長・76人）の年長児が福島則義さん（木倉）の田んぼで稲刈りを体験しました。朝から小雨が降った影響で、田んぼがぬかるんでいましたが、園児たちは泥んこになりながら、楽しく稲刈りをしました。福島さんは「田植えと稲刈りを体験したことで、お米をもっと大事にしてくれたら嬉しいです」と話しました。今回収穫したお米は60kg。それぞれの園に贈られました。



1_脱穀の仕方を教える村上さんと児童
2・3・4_稲を刈る滝尾小の児童と若葉、高木の園児たち 5_園児たちに説明する福島さん 6_全員で集合写真

秋の例大祭 若宮神社「通し物」

秋の例大祭「通し物」が10月9日、若宮神社（辺田見）で開かれ、町中心部を太鼓や三味線の音に合わせて練り歩きました。「通し物」は1732（享保17）年の御船川大洪水で流された、同神社の御神体を嘉島町（犬淵）のナマズが受け止めたため、氏子たちが行列をつくり、迎えに行ったことが起こりと伝えられています。若葉保育園の子ども神輿を先頭に、少女2人が打ち鳴らす太鼓に三味線の音色を合わせ、古謡「田の茂のうた」を合唱して、秋空の下を約100人の列が続きました。



若葉保育園を先頭に行列をつくる氏子たち



1_みんなで輪になり、楽しく踊る参加者たち
2_二剣の舞を奉納した住田健太郎さんと寺林克洋さん

四宮神社で受け継がれる伝統の舞

10月9日、四宮神社（北木倉）で秋季例大祭が行われました。例大祭では、四宮神社神楽保存会（坂本雅哉会長・20人）による神楽が奉納されました。式神楽・地鎮・豊栄舞・浦安舞（扇・鈴）・二剣などが、五穀豊穡や家内安全、健康を願い、小学生から大人までの保存会員雅な舞で奉納しました。笛や太鼓の音に合わせた神楽の舞に見物客は終始見入っていました。外では、地域の人が集まり、曲に合わせて輪になり踊り・祭を楽しみました。

教育会館寄席～みんな笑顔になろう

10月11日、滝尾小学校（上田晃生校長・63人）の体育館で熊本教育会館（島田末吉理事長）主催で寄席を行いました。これは教育文化事業の一環で、子どもたちに生の寄席を見せ笑顔になってもらいたいという目的。会場には、地域住民を含め、約100人ほど参加しました。落語家の柳家さん喬師匠他3人の出演者が「寄席ばやし」や「太神楽」、「落語」を披露。落語独特の落ちや棒をくわえて湯呑を回し続けるなどの演芸で、会場は笑い声と驚きの連続で大きい拍手が沸き起こり、笑顔で溢れていました。



1_太神楽を披露した翁家和助師匠 2.3_落語を披露した柳家喬之助師匠（左）、柳家さん喬師匠（右） 4_寄席ばやしで三味線を弾いた柳沢きょう師匠

上野保育園が芋掘り体験!!

10月24日、川口勝行さん（上野）の畑で上野保育園（上村いつ子園長・47人）の園児31人が芋掘りを行いました。農業体験や交流を目的としていて、今年で15年目。地元の中山間地事業の役員や民生委員の児童福祉部会の人たちと一緒に芋を掘り、楽しく交流しました。川口さんは「今日家に帰ったら、芋掘りで楽しかったことやきつかったことをお父さんやお母さんにいっぱい伝えてください」と笑顔で話しました。今年採れたさつまいも「紅はるか」は園児たちにプレゼントされ、天ぷらにしておいしくいただきました。



「お芋をいっぱい採ったぞー!!」